

機能・装備

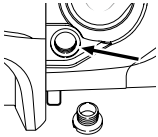
S-Reliance

SMOOTH・SILENT・STRONG を追求するために集結された独自の機構の数々。



EASY メンテナンス

オイル・グリスによるメンテナンスはインジェクションキャップを外していただくだけで、簡単に行うことができます。

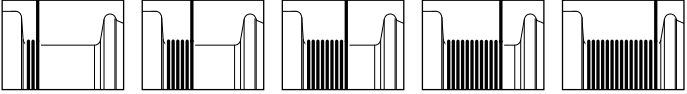


エアラップスローオシュレーティングシステム



密に巻かれたラインはスプール前後のターン数が極めて少ないため、乱れず美しく放出されます。放出音の静けさがエネルギーロスの小さい証です。また、密巻きすることによって糸の巻き上げ厚が薄くなり、表層～ボトムにいたるまでのスプールエッジの抵抗が極めて少なくなります。

スローオシュレーティングシステムによりスプールにラインが密に巻かれます。



※イラストはイメージ図です。

大径・ノーテーパーアルミニウムCF (冷間鍛造) スプール

コールドフォーミング (冷間鍛造) したアルミニウムをマシンカットで徹底的に無駄な贅肉を排除することにより、超軽量で強度のあるスプールに仕上げました。

85mm ハンドル

巻き上げトルクが大きく楽に巻き上げることができます。

スーパーストッパー II

これまでのスーパーストッパーをさらにグレードアップしたローラーベアリング内蔵のストッパーで、瞬時のアワセや糸フケとそれにとまなうガイドがらみを防止します。

フローティングシャフト

ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたメインシャフトとピニオンギアの関係に、非接触部分を大きく取ることで摩擦を大きく軽減しています。

ストローク 35mm

糸落ち防止カラー

海水使用 OK



シャワー洗浄 OK

使用後はシャワーでの洗浄が可能です。水中には浸けないようにしてください。



ボールベアリング内蔵チタンコーティングパワーローラー III

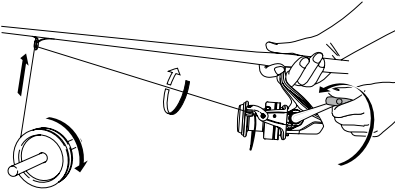


竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、糸のヨレを 50% 解消する新開発「パワーローラー III」を採用。ライントラブルの減少を図りました。※ 1 (当社比、基準による) ※ 2

パワーローラー III ご使用上の注意

「パワーローラー III」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下記の要領で糸を巻いて下さい。

1. 図のようにリールを竿に取り付けます。
2. 第 1 ガイドから糸を通してスプールに結びます。
3. 糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
4. それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。



※ 1 糸ヨレについて

次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。

- もともと糸がヨレている時。
- シカケが回転して、ヨリをかけている時。
- 新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。
- 非常に軽いシカケの巻きとりで、ローラーが回転しない時。
- シカケを投げた直後の糸フケを巻きとる時。
- その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

※ 2 当社比、平均 50% 解消

磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下 (シカケ、ルアー、巻きとり具合) で 1 日釣をしたということを想定したテスト (当社品質規格) を行い、従来商品と比較したデータです。平均で 50% 解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

操作方法

● ハンドル 左右付け替え

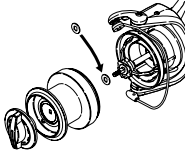
ハンドルの左右付け替えは、ハンドルスクリューキャップを外してハンドルを差し替えてから、ハンドルスクリューキャップを十分にネジ込んでください。

● 糸巻き形状の調整方法

糸巻き形状は、〈図 1〉のように糸の巻かれた面が平行で、上下にすぎ間のない状態がライントラブルの防止に有効です。〈図 2〉〈図 3〉のように大きく変型して巻き上がる場合は、以下のように調整することをおすすめします。

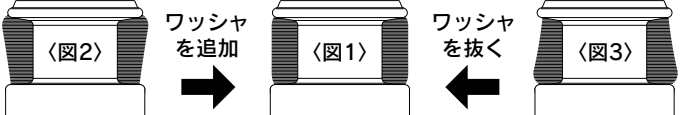
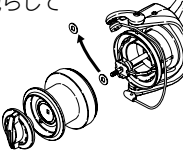
前よりの糸巻き形状を修正
〈図 2〉を 〈図 1〉へ

付属のワッシャを追加してください。



後ろよりの糸巻き形状を修正
〈図 3〉を 〈図 1〉へ

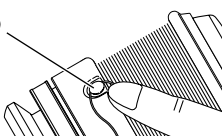
メインシャフト上にあるワッシャを減らしてください。



● 糸の止め方

ツメの下側から糸を通して固定して下さい。

糸止め

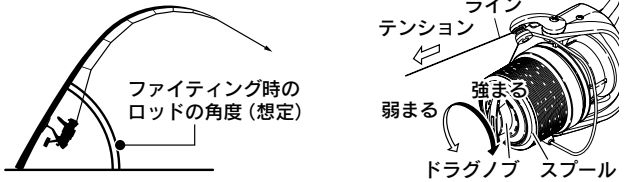


● ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ (ラインブレイク) を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし、糸をガイドに通してください。
2. ストッパーレバーを “ON” の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスプールドラグノブの締め付けを調節して下さい。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出して下さい。

※ キャスティング (投げる) の時は、ドラグノブをしっかり締めた状態で投げてください。締め込みが足りないとドラグが滑り、糸で指を切る恐れがあります。



● キャスティング時の注意

キャストを行う際は、ベールをボディの当たり近くで返し、しっかりベールが返っていることを確認してください。ハンドル回転で不用意にベールが返らない仕様になっておりますので、キャスト後は手でベールを返して下さい。

メンテナンスの方法 (オイルインジェクションで簡単・安心)

通常使用後は **1. 2.** の水洗いと乾燥だけで十分です。およそ 5 回の使用に 1 回、また次のご使用までに 1 ヶ月以上の期間があく場合は、**3.** の注油を併用するとより効果的です。オイルインジェクションの採用で、リール内部へのオイル補給も容易です。リールを水没させてしまった場合は、**1.** から **3.** までのメンテナンスで応急処置はできますが、できるだけ早く最寄りの小売店にお預けいただき、当社のアフターサービスを受けることをおすすめします。

1. **水洗い**…まず、ドラグ内に水が入らないようにドラグを締め込んで下さい。次に、シャワー等の真水で水洗いして下さい。リールに付着した塩分、汚れを洗い流します。〈図 A〉

※ 温水はグリスを洗い流す可能性があるのをお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。

※ 竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。

2. **乾燥**…しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干しして下さい。〈図 B〉

※ 直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。 ※ 水を切り、乾燥させる際にドラグをゆるめ、オイルインジェクションのキャップを外しておくことより効果的です。

※ 外したキャップは無くさないよう注意してください。〈図 C〉

3. **グリス、オイル噴霧**…オイル噴霧箇所は〈図 D〉を参照していただき、間違えないように噴霧して下さい。グリス、オイルはシマノ純正品 (別売・下記) をお使い下さい。

* 単品でご購入される場合

シマノ純正リールオイルスプレー (SP-013A)
シマノ純正リールグリススプレー (SP-023A)

* リールオイルスプレーとリールグリススプレーの 2 本セット

シマノ純正リールメンテスプレー (SP-003H)

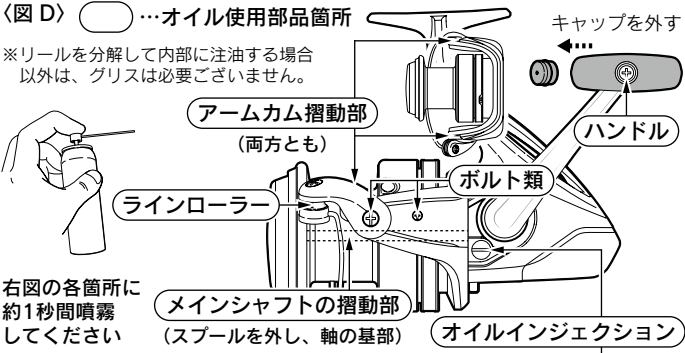
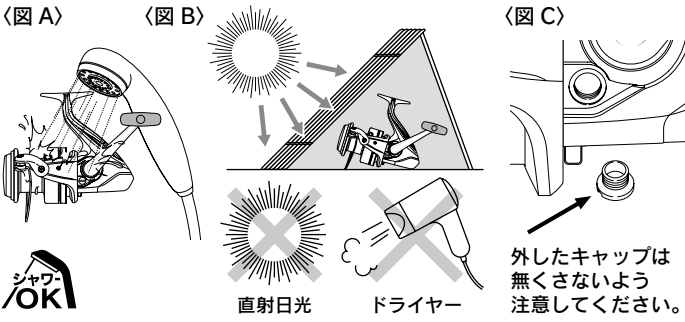
※ いずれも小売店様にてご注文ください。

※ 注油の際は、オイル、グリスが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。

※ リールを分解して内部に注油する場合以外は、グリスは必要ございません。

● お願い

グリス、オイル類は **シマノ純正品** (別売) をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。



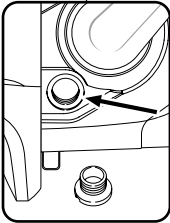
● オイルインジェクションへの噴霧は…

マイナスドライバーでキャップを外し、オイルスプレーを注入して下さい。 (右図)

1 回の注入は約 1 秒までの噴射が適当です。 ※ 注入しすぎるとあふれたオイルで衣服等を汚すおそれがあります。

※ オイルスプレーの注入が終わりましたらオイルインジェクションのキャップは必ず装着して下さい。

※ リール本体にオイル、グリスが付着したままですと、キャスト時にすべるおそれがあります。必ず拭き取ってください。



製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧いただき、製品名と製品コードをお知らせください。

- 例 / 製品名: アクティブキャスト 1050 製品コード: SA43
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

- 修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に (例 / ストッパーが働かない) お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

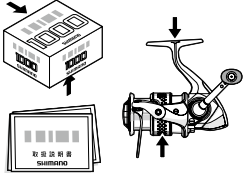
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

例 / 製品名: アクティブキャスト 1050 商品コード: 02636
製品コード: SA43 部品番号: 2 部品名: スプール

- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性がございます。

● 商品コード / 製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面部に製品コード及び商品コードを表示しています。又、製品には製品コードの上 4 ケタを表示しています。



Activecast